

どなたでも自由に参加できます。
一歩でも二歩でも参加してください。

第19回 抗議デモ・学習会

11月21日(土)

●抗議デモ 午後1:30集合 1:50出発 烏山区民センター広場

●学習会 午後2:30開会 烏山区民センターホール

オウム
対策
住民
協議
会
ニ
ュ
ー
ス

烏山地域オウム
真理教(現アレフ)
対策住民協議会

講演

カルトにはまる大学生 —その背景と対策—

1995年、日本中を震撼させたオウム真理教による無差別テロ行為は、「カルト集団」の恐怖を目の当たりにしました。あれから14年経過した現在も、カルトがなくなることはありません。

今回の講演は、オウム事件以後、特に大学生をターゲットとしている宗教カルト団体について、その被害の実態と対策の現状、今後の課題などを具体的にお話ししていただきます。



●講師：川島堅二氏

略歴 1958年東京生まれ。東京大学大学院人文社会学研究科博士課程単位取得(宗教学・宗教史学専攻)、文学博士。恵泉女学園大学人間社会学部教授、日本脱カルト協会正会員、全国カルト対策大学ネットワーク発起人。

大学生をターゲットにした新宗教やカルト宗教の動向に詳しく、脱会支援活動にも従事している。

主催：烏山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会

共催：世田谷区

抗議デモ・学習会に
参加してください。

烏山地域で「オウム反対」「オウム解散・解体」の第1回抗議デモ・学習会が始まったのは、二〇〇一年一月九日で、11月21日には19回目になります。

第1回はオウム真理教による、無差別テロ事件への恐怖、元教祖麻原彰晃が公判中と言う事もあり関心も高く、床に座る人、立ち見の人で七〇〇人以上の参加があり、多いに盛り上がりました。参加者も「なぜ烏山にきたのか」「烏山から出ていけ」などの声と共に、オウム真理教への恐怖心と憤りで、異様な熱気だったことを覚えています。

しかし、麻原の死刑確定の頃から、オウム真理教に関する、新聞、テレビでの記事、映像が極端に減少すると、オウム真理教への関心も薄れてきました。

それでも、オウム真理教は烏山地域に存在するのです。そして、一九八九年の坂本弁護士一家殺害事件から、一九九五年地下鉄サリン事件までの7年間で、約30人の尊い命を奪った事実も消す事はできません。オウム真理教が「アレフ」「ひかりの輪」と名前を変えても、その事実から免れることはできません。

そのような集団が烏山地域に存在する限り、住民協議会は皆さまに、繰り返し、繰り返し呼びかけ運動を続けていきます。

「団体規制法存続・強化をもとめる署名」へのご協力ありがとうございました！

私たち烏山地域オウム真理教（現アレフ）対策住民協議会は、2月の観察処分期間更新に引き続き、「団体規制法の存続・強化を求める署名」活動に取り組んで来ました。

世田谷区内町会・自治会、商店街、PTA他各方面の活動団体からの協力。夏の祭りや、秋のイベント、地域のいろんな場での署名活動には、本当に多くの皆様の協力を頂きました。10月に入り、目標としていた50,000筆以上の署名を集めることができました。

10月22日、この署名を携えて法務大臣への要請を行い

ました。又11月5日には、公安調査庁長官への要請も行いました。ともに署名活動を行っている滋賀県湖南市平松区のオウム対策委員会や、金沢市オウム真理教対策協議会でも同時に要請行動を行いました。今年12月に行われる団体規制法見直しの結果が、努力してきた私たちへの良い知らせとなるよう願っています。

ご協力いただいた皆さまへ感謝申し上げますと共に、「オウム真理教解散・解体」を目標に闘っている住民協議会への今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

金沢市オウム真理教対策協議会へ訪れて

金沢市でのオウム対策会議に出てほしいという再三の要請に9月15、16日に金沢訪問となった。金沢には新幹線を使っても約5時間の行程である。

石川県金沢市にあるオウム真理教対策協議会（会長 東良勝）とは2年前のオウム被害者救済法での要請行動以来、滋賀県も含めて連携して行動をとっている。

金沢にオウム真理教の信者が入ったのは14年前で表通りに面したマンションの2階を個人名義で借り、後にオウム真理教とわかり大家に契約更新をしないように頼んで出て行ってもらった。その後も同じように信者が個人名義でマンションを借りる形態が続いていたが、現在は正悟師の山田という女性信者が相続で得た資金で一戸建てを購入しそれがアレフの金沢道場となっている。居住地はJR金沢駅から車で7～8分の閑静な住宅街にある。見廻りをする人たちは、「夜になると電気が少し点く程度で人の出入りはまばらだ」と言う。そのオウム施設から徒歩10分程度の所にオウム対策協議会の会議室がある。ここは東会長の自宅を提供したもので、この日も主要メンバーが集まり会議を重ねていた。

金沢のオウム対策会議は警察、公安調査庁、金沢市、そしてオウム対策協議会の四者で会議を開くもので、突っ込んだ情報までかなりオープンに話し合われている。その際の会議には市役所の会議室を使用する。そこに衆院議員の馳 浩代議員が時折入る。今回の会議には公安調査庁の出席はなかったが、「団体規制法」の要請方法とその時期の話し合いが議題であった。これまでの各大臣の面会要請は自民党の馳代議員を頼っていたが、今夏の衆議院議員選挙の結果、政権が民主党に移ったために、今回の要請にあたっては、どのように進めればよいか、ということが大きな

課題だった。なお、金沢市では馳議員が当選しており、今後も同議員が協議会を支援していくことは変わらないと話している。

16日には市議会で協議会メンバーの横越 徹議員がオウム問題を質問するとのことで10名が議会を傍聴した。質問自体は「オウム問題への取り組み」に関するものだったが、横越議員が協議会メンバーと協議して質問を作成し、協議会メンバーが傍聴することで横越議員をバックアップするという体制は、世田谷でも学ばなければ、と考えさせられた。ちなみに横越議員の自宅から徒歩1分もしない所にアレフの金沢道場がある。

金沢市オウム真理教対策協議会とは、これまでも連携し行動してきたが、今後も交流を行い共に活動していくことを確認しあった。

金沢の2日間は駆け足のスケジュールで、駅まで送ってもらう車の中では協議会活動に若い人の参加がないことの嘆きを聞かされた。



住民協議会活動報告

- 10月17日(土)～18日(日) 「烏山区民センター文化祭」で署名・募金活動
- 10月18日(日) 「自由広場」で署名・募金活動
- 10月19日(月) 住民協議会
- 10月22日(木) 法務大臣への要請行動

- 10月25日(日) 「芦花まつり」で募金活動
- 10月26日(月) 協議会ニュース90号初校正
- 11月2日(月) 協議会ニュース90号再校正
- 11月5日(木) 公安調査庁長官への要請行動
- 11月6日(金) 事務局会議
- 11月10日(火) 協議会ニュース90号(全区版)発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。